

別紙 2

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い学校の取組状況調査表

市町村名・学校名	水戸市・水戸市立寿小学校
----------	--------------

1 時間外在校等時間の状況（教職員の平均値）

区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
小学校	25:01	25:58	24:37	43:09	30:08	38:13	26:10
中学校							

2 学校が主体的に実施する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】

○専科教師による専科授業を実施し、担任の空き時間を生み出す。今まで担任が休み時間や放課後に行っていた家庭学習や宿題等を検閲する時間の確保ができた。

○学校行事を教科等へ位置づけ、実施内容の削減をした。

- ・運動会を体育へ（当日 4 時間+練習時間 4 時間）
- ・校内持久走大会を体育へ（当日 2 時間+練習時間 5 時間）

○感染症対応のために、オンライン学習の授業内容の資料作成を特定の教師が行うのではなく、複数の教師が分担して行い時間の短縮につながった。

○感染症拡大時期のオンライン授業実施時期においては、児童がタブレット持ち帰り、家庭でも授業形式で学習できる教材の研究を学年職員で行い、一人一人の負担を軽減した。

【教職員の意識改革に関する取組】

○定時退勤日を設定し、教職員が一人必ず週 1 回の定時退勤日を申告し、当日の声掛け、確認等で確実に実施をして、心身の健康維持に努めることを意識させた。

○職員会議や運営委員会時における、一部資料の大型提示装置の使用（印刷、綴じ込み、配付等の縮減）により作業時間の短縮に繋がった。

【その他時間外の原因分析・解消に関する取り組み】

○給食費の公会計化（水戸市全体での実施事項）
教頭、事務職員の督促にかかる時間や担任の保護者への電話対応の時間が無くなった。

○校外研修のオンライン化（市教育委員会）
移動時間を含め、会議時間の短縮ができた。

○校務運営システム C 4 t h の運用（水戸市全体）
出席簿や指導要録、通信表のデータが一元化でき、それぞれの作成時間が短縮できた。
市内学校間や教育委員会との文書のやり取りがスムーズになり時間短縮につながった。